

KAORUKO / ジャスマックエージェンシー

東京・南青山に直営施設1号店の運営を開始

「KAORUKO HOUSE / JASMAC AOYAMA」

ブライダルフラワープロデューサーのKAORUKO氏(株)KAORUKO代表取締役)は、(株)ジャスマックエージェンシーと提携し、自身初となる直営の婚礼施設として、東京・青山の「JASMAC AOYAMA」の運営を1月からスタートした。婚礼における新施設名は「KAORUKO HOUSE / JASMAC AOYAMA」となる。

同施設は建築界のノーベル賞ともいわれる「ブリツカ賞」に輝いたイタリアの建築家アルド・ロッシ氏が手掛けたデザイナーズハウスで、築18年を過ぎた現在でも海外からも建築関連業者が視察に訪れる本物のアーキテクチャとして評価されている。KAORUKO氏はこのハードを生かして会場のフラワーデザインを始め、これまで実践してきた空間デザインのノウハウと、ホスピタリティーマインドの高い運営ソフトを武器に、オンラインワンの施設として新施設を運営していく。

「ゲストハウスはたくさんありますが、アーキテクチャと呼ばれるような本物のハードを持つ施設はほとんどありません。KAORUKOブランドの直営施設1号店として、こ

れほどふさわしい舞台はないと、今回の出会いに感謝しています。しかし、ウイークポイントとしては常設のチャペルや控室がなく、ブライダル雑誌に出稿しても、ほかのスタイルッシュな施設のはざまに埋没しがちのようでした。このハードを1軒まるごと日本のどこにもない空間にコーディネートして、既存のゲストハウスにはない、ラグジュアリーでマインドフルな新しい邸宅風のウエディングスタイル、いわば、日本版マーサ・スチュアートのウエディングを提案していきます」(同氏)。

集客戦略ではヴァンサンカンウエディングを軸に展開し、エントランスガーデンのオリーブの木を象徴的に使用したメインビジュアルをはじめ、花のみならずオリジナルウエディングの総合プロデューサーをKAORUKO氏がすべて行なう。運営ソフトに関して、まず進行表づくりではなく、二人の歴史のストーリーから全体の骨子を決めて、そのメインテーマから会場やアイテムを決めていくアメリカンスタイルのプロデューサーを行なう。今後は青山を活動の拠点にして、地方でのコンサル事業を引き続き行なっていく。

〈堂〉